

## 新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。  
謹白



### 項目名

● トリプシン/ラテックス凝集比濁法 (依頼コード No.14017)

受託開始日 2024年3月1日(金) ご依頼分より

トリプシンは膵臓から分泌される蛋白分解酵素です。膵臓以外の臓器に存在しないため膵特異性が高く、血中トリプシンは膵臓の炎症や膵管閉塞、膵外分泌機能などの指標となり、膵疾患の診断や経過観察などに利用されています。

また、血中では $\alpha$ 1アンチトリプシンなどの蛋白分解酵素阻害因子と結合して酵素活性を有しない複合体として存在するため、酵素活性は測定できず、蛋白量が測定されます。

この度、検査精度向上を目的として、ラテックス凝集比濁法での受託を開始いたします。

- 当該検査の受託開始に伴い、現行のトリプシン/EIA法(依頼コードNo.00553)は2024年3月30日(土)ご依頼分をもって検査の受託を中止させていただきます。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3  
総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市的場1361-1  
☎ 03(6629)7386 FAX 049(232)3132

検査項目検索用  
アプリ B-Book



Google play



Available on the  
App Store



電子カルテはビー・エム・エル



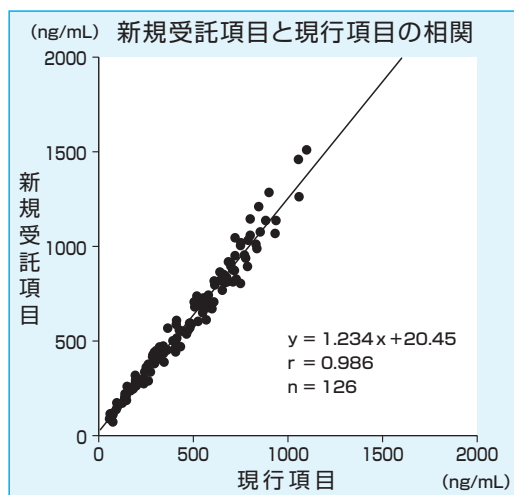
## 受託要領

	新規受託項目	ご参考: 現行項目
依頼コード No.	14017	00553
検査項目名	トリプシン	同左
統一コード	3B185-0000-023-062	3B185-0000-023-023
検体必要量	血清 0.5mL	血清 0.4mL
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2~3	同左
検査方法	ラテックス凝集比濁法	EIA法
基準値	210~570	100~550
単位	ng/mL	同左
報告範囲	30未満~最終値	50未満~最終値
報告桁数	整数	同左
検査実施料/判断料	189点/144点(生化学的検査(I))	同左

### 【検査方法の参考文献】

植田進之介, 他: 医学と薬学 77(12), 1659-1668, 2020.

## 相関図(ご参考)



自社検討資料